

【 心を育てる 】

4月の一ヶ月間、こどもたちは様々な姿をみせています。
「こどもっていいな。人間っていいな」と思える出来事も沢山。
時にぶつかったり悩んだり…それも人間のよさです。
「失敗は最大の成長の糧」とよく言われますね。



今回は、「心」についてお話します。私は人が人として在るためには「心の在り方」が人生を大きく変えていくと思っています。教育現場では、よく「学力向上」と言われますが、文科省から育成する3つの資質・能力の1つ「学びに向かう力・人間性等」は、数値では測れないが非常に重要な資質であるといわれています。要は「心の在り方」です。

子育ての中で、親として日々喜んだり悩んだり・・・「こんな苦勞をしなければ・・・」
と思うことも沢山あります。私もそうでした。そんな時には深呼吸してみましょう。
たとえば・・・

「自分だって(今は大人だけど)こどもだった。
我が子のことばかり言えないな」
「この子は大切な我が子。」
「この子らしく元気に育ててほしい。でも親として欲張りすぎているのかな・・・」



「子育ては親育て」と、これもよく言われます。こどもがいてくれるおかげで、私達は自分を振り返り、人として成長させてもらえます。そのことを忘れず、一緒に成長していきたいものです。そうやってこどもの「心」は育まれていきます。

実は、職員室にも昨年度から掲示してある日めくりカレンダーがあります。全面、入退校パソコンの前。職員が毎日それを目にするようにしています。このカレンダーは全国的に有名になったカレンダーで、子育てのものが大ヒット。主に幼稚園や保育所向きですが、当たり前のことを大切にすることで人(心)は育つ、と、説明やかわいいイラスト付きで紹介しています。

もう一つは大人バージョン「やまとしぐさカレンダー」。ああ、そうだな、と日々気持ちを整え、すっきりして、こどもたちを迎えています。カレンダーに興味のある方はぜひ声をかけてください。(5月 文責：校長 池田明子)

